

2015年
クイーン倶楽部だより ② 月号
第144号

ERIN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp

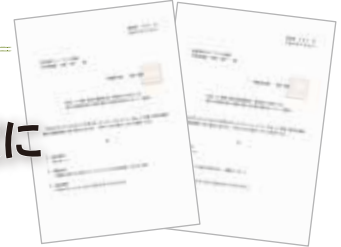


わかめご飯

米粉のクッキー

平成26年度

Made in 新潟
新商品調達制度に
認定されました



「アルファ米わかめご飯」と「米粉のクッキー」が平成26年度・Made in 新潟 新商品調達制度の認定を受けました。

「Made in 新潟」とは、新たな事業分野の開拓を図る事業者が生産する新商品を県が積極的に調達する制度で、今まで44商品が認定を受けています。

今回は新潟県知事よりダブルで認定をいただくことができました。新潟県のバックアップで災害時に役立つ商品の開発をすすめていきます！

Made in 新潟については

<http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoseisaku/1356802712707.html>

ドクター
中村の

健康
徒然記

その48

歳のせい



中村 信也(なかもちのぶや)
医学博士、東京家政大学家政学部栄養学
科教授として教鞭をとり、「食と医療の医
療薬膳研究の第一人者」として活躍中。

病気がかかると、「歳のせい」と言われます。歳をとっておきた病気を、治しようがありません。愁傷様です。無駄な抵抗はやめましょうの意味合いがあります。その上、自分の境地を少しは悟りなさいといってお叱りが多いです。私も整形外科医で、この語を日常茶飯に発してきました。これは使用禁止などだといふことを最近やっと悟った次第です。歳のせいとバカにされたと怒る方が結構いるのです。

この言葉は治らないので関わりたくないという深層で発しているのでしょう。歳のせいと変形して痛い、変形は治らない、だから痛みは取れないという単純明快な発想です。しかし、医者たる者は、変形がどこで痛みを発しているのだ、痛みを取ってみせるという気概がなくてはなりません。挑戦的発想で臨むべきで、青年も老人も関係ないのです。

ヤング医師は、まずはMRIとCT、レントゲンが異常、手術しましょうと迫り、言われた本人はびつくり、啞然として承知の言葉ができません。理解してもらえなかつた不機嫌になり、以降口をきいてももらえません。駄々っ子は相手ですから患者さんも大変です。

私なのですが、百歳に近い田舎の父が腰痛でほとんど歩けないうと聞き実家に帰りました。なすすべもなく、実弟に「よいよ来るべきものが来た」と告げました。そこに怪しげな業者が現れ、布団を使ってくれと提供を受けました。そして、田舎に送付したところ、霊験あらたかに三日で完治というマンビリーダブル体験をしました。

このとき、怪しげな業者も治れば立派な医療と初めて知りました。そこで、このたび怪しげな治療師の集まり「一般社団法ほうほは東京融合治療研究会」を設立しました。キャッチフレーズは「怪しげでも治れば善い治療」です。皆様の参加とご利用をお待ちしております。